

# 知恩 第34号

目 次		
I 定時総会開催	.....	2ページ
II 定時総会資料	.....	5 //
III 講演会の開催	.....	8 //



総会が開かれた水戸市の祇園寺

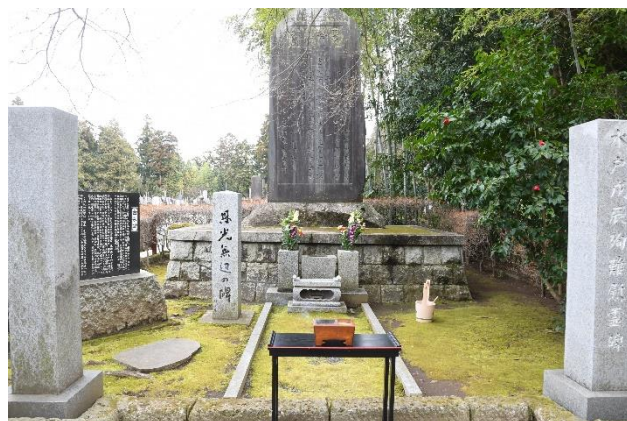


桜には早く 木蓮が咲き残る

3月24日(日)、水戸殉難者恩光碑保存会(大森信明会長)の令和6年度定時総会が、水戸市八幡町の壽昌山祇園寺において開催されました。

昨年とは異なり花曇りとなりましたが、境内の桜はまだつぼみが固く、満開だった昨年とは趣きが変わって穏やかな雰囲気 of 総会となりました。

総会の概要は2ページから、総会資料は、5ページからご覧ください。



恩光無辺の碑

## I 令和6年度定時総会 開催

定時総会は午後1時から、会員及び来賓の方々約30人のご参加により開催されました。



定時総会ご参加の皆様



大森会長及び来賓の皆様

大森会長による開会のあいさつの後、水戸市教育委員会の志田晴美教育長からご挨拶と高橋靖水戸市長からのメッセージをいただきました。

続いて、福島伸享衆議院議員、後藤通子水戸市議会議員、渡邊欽也水戸市議会議員からご挨拶をいただきました。



会長あいさつ



志田晴美水戸市教育委員会教育長



福島伸享衆議院議員



後藤通子水戸市議会議員



渡辺欽也水戸市議会議員



茨城県近現代史研究会 市村眞一会長



幕末維新水戸有志を偲ぶ会  
唐笠實事務局長



会場の様子

次に、茨城県近現代史研究会  
会長 市村眞一先生 及び  
「幕末維新水戸有志を偲ぶ会」  
(栗原邦俊会長)の唐笠實事務  
のご挨拶をいただきました。



そのほかご来賓の皆様をご紹介の後、  
議事に入りました。

## ○ 議事

大森会長から、1)2023年の活動経緯の報告及び 2)2024年行事の計画等について、報告及び説明がありました。

概要は以下のとおりです。詳しくは総会資料をご覧ください。

### 1) 2023(令和5)年 活動経緯の報告

- ① 総会を2023年3月26日(日)に実施。市村眞一先生ご講演
- ② 千葉県匝瑳市慰霊旅行を10月6日に5年ぶりに実施
- ③ 会報「知恩」第32号、第33号の発行

### 2) 2024(令和6)年 活動計画について

- ① 総会の実施(2023年3月24日(日))。  
市村眞一先生ご講演
- ② 会報「知恩」の発行(2回予定)
- ③ 大田原、常陸大宮方面への日帰り研修旅行  
(6/15(土)で計画中) =ぜひご参加ください!!



説明する大森会長

### 3) 2025年の行事について

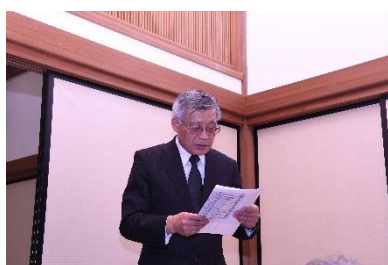
2024.10頃までに決定し、概要を秋の会報にて連絡の予定

## ○ 続いて事務局から、

### 2023(令和5)年度決算報告、監査報告及び2024(令和6)年度予算案について 報告がありました。

2023(令和5)年度決算は、監事から、帳票・書面等監査の結果、適正である旨、監査報告がなされました。

続く 2024(令和6)年度予算案については、活動計画に基づき実施する慰霊法要、研修旅行等に伴う事業費を計上する旨の提案がなされました。



決算報告



監査報告



審議の様子

以上の議案について採決したところ、全会一致をもって可決されました。  
続く5~7ページに総会資料を掲載しておりますので、ご確認ください。

## Ⅱ 総会資料

### 2024年 水戸殉難者恩光碑保存会 総会資料

2024.3.24 会長 大森信明

#### 1. 2023年の活動経緯

①総会 2023.3.26実施 市村眞一先生講演「NHK大河ドラマと茨城の関わり」

②匝瑳市慰霊旅行 2023.10.6実施

5年振りの匝瑳市訪問、詳しくは会報・第33号参照)

- ・水戸藩士の墓（脱走塚）、水戸浪士の墓（斬られ様）の2箇所での慰霊・法要
- ・飯高寺（光圀公ゆかりの寺）見学
- ・匝瑳市参加者との交流会（匝瑳市生涯学習センターにて）
- ・匝瑳市参加者（約20名）

匝瑳市長	宮内 康幸 様
匝瑳市市議会議長	山崎 等 様
匝瑳市教育委員会教育長	二村 好美 様
西光寺住職	菱木 智仁 様
円生寺住職	柴田 敦 様
龍生院総代	関 春男 様

水戸藩士の史跡を顕彰する会代表 依知川雅一 様

中台地区の皆様、水戸藩士の史跡を顕彰する会の皆様

水戸市参加者（19名）

水戸市副市長	秋葉 宗志 様
水戸市歴史文化財課課長	小川 邦明 様
同課課長補佐	関口 慶久 様
同課文化財係長	富永 慧 様
同課文化財課員	柿澤 晟也 様
幕末維新水戸有志を偲ぶ会会長	栗原 邦俊 様
同事務局長	唐笠 實 様
茨城県近現代史研究会会長	市村 眞一 様
水戸殉難者恩光保存会	会長含め11名

③会報発行：2回（第32号：2023.5.21発行、第33号：2023.11.19発行）

#### 2. 2024年の行事について

①総会（2024.3.24）

②会報発行：2回（春、秋）

③大田原、常陸大宮方面への日帰り研修旅行（6/15(土)で計画中）⇒ 詳細裏面

④祇園寺法要 2024.10.13（日）、新型コロナの影響により5年振り開催

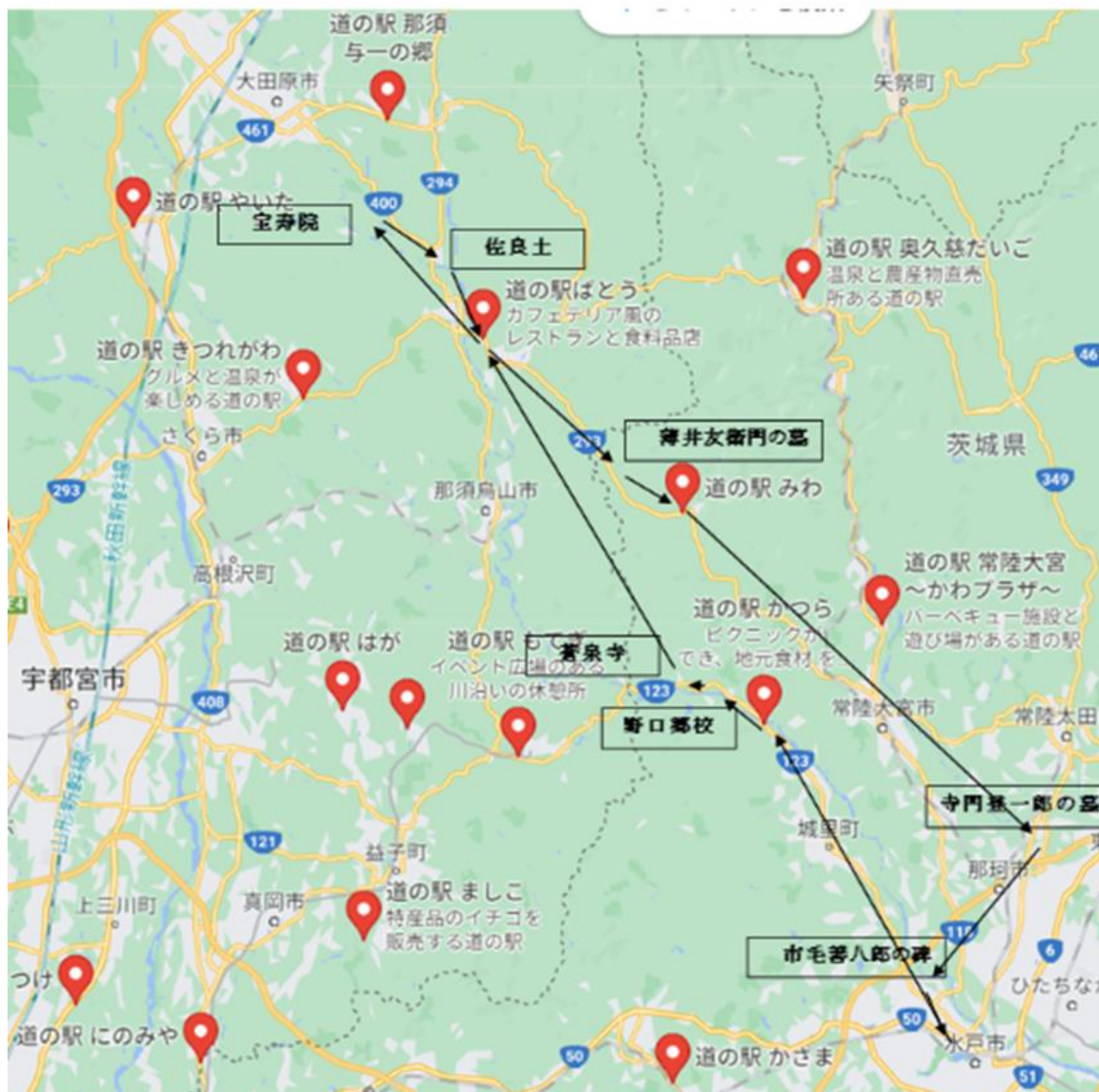
## 2-②大田原、常陸大宮方面の研修旅行について

- ・6/15（土）日帰りで計画中、5月中旬発行の会報に申し込み用紙を同封の予定。
- ・バスをチャーター、参加費5000円位

### 訪問先（案）：

- ・**大田原**：戊辰の役にて、諸生党が会津から水戸に向う途中、大田原藩、黒羽藩と戦闘があり、地元の人により、**宝寿院、佐良土の2箇所**に戦没者の慰霊碑が建てられている。
- ・**御前山**：長倉陣屋で結城寅寿が殺害された。隣の**蒼泉寺**に**結城寅寿の墓**がある。  
**野口郷校**（田中愿蔵が塾長を務めた）旧野口小学校に碑がある。
- ・**薄井友衛門の墓、寺門登一郎の墓**（共に農民兵を率いる）、**市毛善八郎の碑**(市川三左衛門従者)などに立ち寄ることも検討。

### 工程図（案）



## 3. 2025年の行事について：2024.10頃までに決定し、概要を秋の会報にて連絡の予定

以上

## 2023年度決算報告、監査報告 及び 2024年度予算

### ①2023年度 決算報告

2023年度

収支決算報告

2023/1/1~2023/12/31

単位・円

収入の部				支出の部			
科目	金額	内訳	摘要	科目	金額	内訳	摘要
前期繰越	720,752			交通費	18,820		慰霊旅行高速料金等
年会費	120,000	60名/71名回収率85%		会議費	77,079		総会・慰霊旅行弁当代
寄付金	47,000			事務費	15,563		サーバー利用料等
灰爪寄付金	140,000			渉外費	39,456		総会・慰霊旅行
雑収入	6	受取利子		資料費	3,498		写真代等
法要会費	90,000	総会事前準備費		通信費	50,348		切手・ハガキ・封筒等
慰霊旅行費	75,000	匠磋市慰霊会費振込 15名		灰爪寄付金	60,000		定額寄付
その他	4,890			振込料	660		
				法要費	75,374		祇園寺会場費・慰霊旅行お布施等
				その他	91,052		総会事前準備費等
合計	1,197,648			合計	431,850		

2023年度

収入

支出

次年度繰越金

¥1,197,648

—

¥431,850

=

¥765,798

2023年度

収支決算を上記のとおり報告致します

2023.12.31 水戸殉難者恩光碑保存会

会長 大森信明

事務会計 門井孝廣

### ②2023年度 監査報告

監査報告

監査の結果、帳票・決算書とも適正であることを認めます

2024年3月24日

監事 成田行弘

監事 大森信樹

### ③2024年度 予算

収支予算

2024/1/1~2024/12/31

単位・円

収入の部				支出の部			
科目	金額	内訳	摘要	科目	金額	内訳	摘要
前期繰越	765,798			総会費	10,000		総会会場費用
年会費	142,000	71名/71名回収率100%		研修旅行費	160,000		
研修旅行費	160,000	6月大田原市・常陸大宮市		慰霊法要	300,000		
慰霊法要	300,000	10/13祇園寺慰霊法要		会議費	50,000		
				雑費	10,000		
				事務費	17,000		
				渉外費	15,000		
				資料費	5,000		
				通信費	60,000		
				灰爪寄付金	60,000		
				予備費	680,798		
合計	1,367,798			合計	1,367,798		

以上

### Ⅲ 市村眞一先生講演

○議事終了後、市村眞一先生  
(茨城県近現代史研究会会長)から  
ご講演をいただきました。

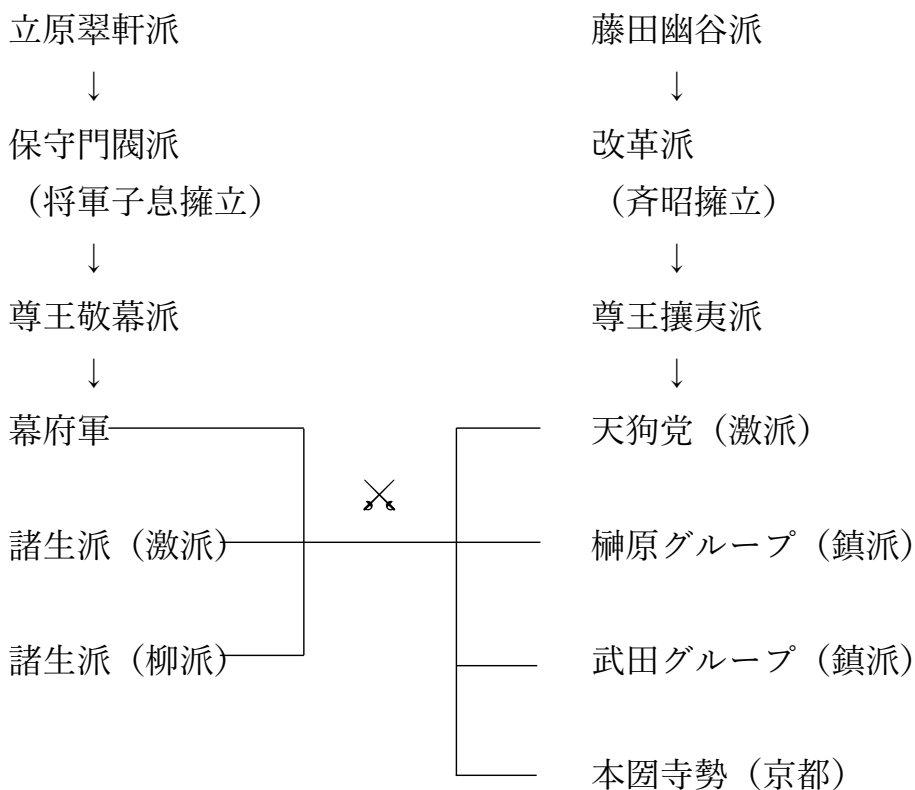
「茨城県出身の唯一の現役陸軍  
大将は諸生派」との内容で、  
幕末水戸藩の対立の構図から、  
国難に翻弄されながらも、現役で  
政新府の陸軍大将に昇進した  
菊池慎之助について伺いました。

転職、養子、結婚など生涯の節目  
における決断と生き抜く知恵、運命  
について考えさせられました。



茨城県近現代史研究会会長 市村眞一先生

#### 幕末水戸藩内の対立構図

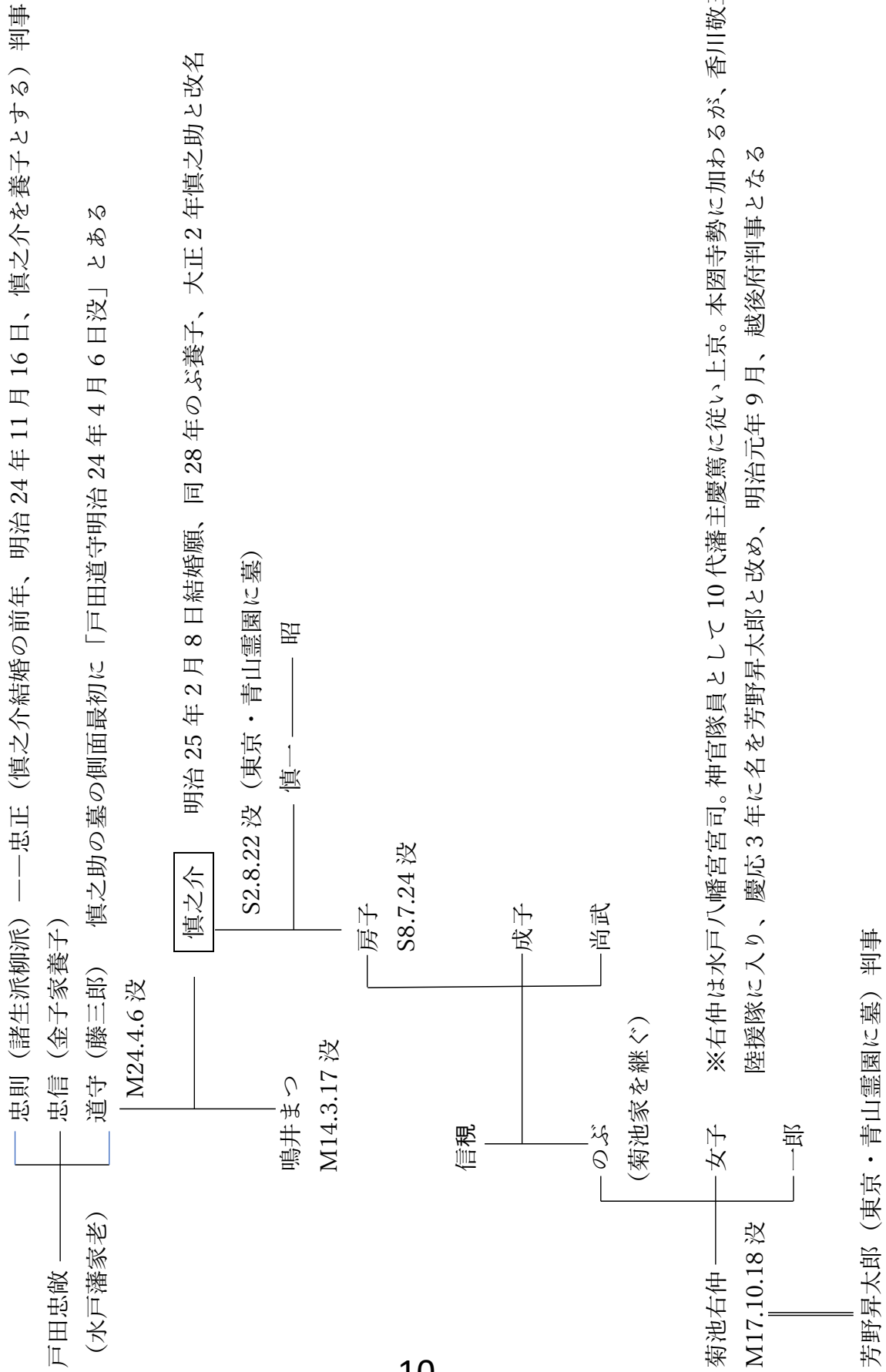




## 菊池慎之助略伝

- 1855 安政2 安政の大地震で藤田東湖と戸田忠徹圧死
- 1864 元治元 天狗諸生の戦いに諸生派で忠徹長男・忠則、3男道守参戦
- 1865 慶応元 千石の執政、忠則は市川三左衛門と意見が合わず、獄死
- 1866 慶応2 0歳 慎之介、藤三郎道守の長男として、水戸で生まれる
- 1867 慶応3 1歳 3月10日、市川勢500人が会津へ
- 1868 慶応4 2歳 道守は遅れて家族4人を連れて福島市郊外の荒井に土着
- 1876 明治9 10歳 道守と妻の鳴井まつ、荒井小学校教員に
- 1879 明治12 13歳 慎之介、佐倉小学校の代用教員に
- 1880 明治13 14歳、代用教員を辞め上京、陸軍教導団歩兵大隊入隊
- 1881 明治14 15歳、母37歳死去、墓は小学校の教え子らが荒井地区に建立
- 1885 明治18 19歳、教導団歩兵科を出て二等軍曹
- 1886 明治19 20歳、陸軍士官学校に入学。同年、道守は荒井小学校校長を辞め、佐倉小学校教員に
- 1887 明治20 21歳、道守は娘3人が地元で嫁ぐと退職し、古里に戻り客死
- 1889 明治22 23歳、少尉任官、近衛歩兵第三連隊付き、戸山学校を出て陸軍大学へ在学中に中尉、日清戦争に近衛歩兵三連隊副官で出征、台湾に赴き、大尉に昇進、同連隊中隊長に。28年菊池のぶ養子
- 1897 明治30 31歳、戦後、大学復学、卒業後参謀本部勤務。教育総監部参謀
- 1903 明治36 37歳、ドイツ、ロシア駐在、日露の関係悪化により1年で帰国
- 1904 明治37 38歳、日露戦争では第四軍管理部長から同副官となり出征。遼陽会戦、沙河の戦闘などに参戦、中佐となり、第四軍参謀に。奉天会戦後、復員し陸軍省副官として寺内陸相に仕える
- 1906 明治39 40歳、ドイツ、ロシアで軍事研究。翌年、帰国し参謀本部付となり、大佐に昇進。第十六師団参謀長から陸士生徒隊長に転じる
- 1913 大正2 47歳、少将で歩兵第五旅団長となる。慎之助と改名。人事局長に抜擢後、参謀本部総務部長。6年、中將に進み、教育総監部本部長に転じ、翌年に第三師団長に親任。12年、朝鮮軍司令官在任中に大將昇進
- 1924 大正13 58歳、軍事参議官兼東京警備司令官
- 1926 大正15 60歳、教育総監兼軍事参議官 昭和2年8月22日没、61歳

## 菊池慎之助系図



※本会のホームページのURLです  
ぜひご覧ください

<http://www.onkouhi.site/>



★編集後記 総会に先立つ3月20日の春分の日、水戸市にある日蓮宗華光山蓮乗寺に行きました。蓮乗寺には「弔魂之碑」があります。元は長岡原にありましたが、道路拡張に伴い、有志の方々により蓮乗寺に移されたということです。手向けられているお花やお線香も多く、折にふれ、いろいろの方にお参りされているようでした。(樹)



知恩第34号  
発行日  
発行所  
発行人  
作成

2024年(令和6年)5月12日  
水戸殉難者恩光碑保存会  
大森信明  
事務局 編集委員会